

## 平成29年度 「評定の範囲」について

### 1. 「評定の範囲」とは

各中学校における生徒の年度末評定が妥当性・信頼性の高いものであるかどうかを判断するため、チャレンジテストの結果を活用し、府教育委員会が示す得点の範囲のこと。

※例：第1学年の国語において「評定3」と評価されている生徒のチャレンジテストの得点が「評定の範囲」である79点から24点の間であれば、その生徒の評価は妥当かつ信頼できるものとする。

### 2. 作成方法

各教科（選択問題においては選択問題ごと）の評定ごとに、チャレンジテストの得点の分布を統計の手法によって処理し、分布内の約95%を「評定の範囲」とする。

### 3. 「評定の範囲」

#### <中学校第1学年>

	評定5	評定4	評定3	評定2	評定1
国語	100～58 (88～68)	90～44 (78～56)	79～24 (65～38)	60～8 (47～21)	51～0 (37～10)
数学	100～67 (96～77)	98～46 (85～59)	80～18 (64～34)	52～1 (39～14)	33～0 (24～7)
英語	100～80 (99～86)	100～62 (92～72)	93～36 (78～50)	73～15 (58～30)	65～0 (50～20)

#### <中学校第2学年>

	評定5	評定4	評定3	評定2	評定1
国語	100～72 (95～80)	100～61 (90～71)	94～40 (80～53)	80～16 (64～32)	68～0 (51～19)
社会A	100～52 (88～64)	86～32 (72～46)	68～13 (54～27)	46～5 (36～16)	38～0 (29～12)
社会B	100～62 (90～71)	90～42 (77～54)	73～18 (59～32)	50～6 (39～17)	38～0 (29～11)
数学	100～69 (96～78)	98～49 (85～62)	83～20 (67～36)	55～1 (41～14)	37～0 (27～7)
理科A	100～69 (94～78)	96～52 (85～63)	85～28 (70～43)	65～10 (51～24)	48～0 (37～14)
理科B	100～71 (94～79)	97～54 (86～65)	86～28 (71～43)	65～8 (51～23)	48～0 (36～14)
英語	100～68 (96～78)	98～46 (85～59)	80～24 (66～38)	58～11 (46～23)	47～0 (37～18)

※（ ）内は、当該評定の範囲の中で、得点の平均値の上下約35%の生徒が存在する範囲